

つながりあう、未来に備える遠隔共助ネットワーク ～子育て防災ネットワーク～



しずおか子育て防災ネットワーク

<https://shizuokakosodatebo.wixsite.com/network>



しずおか子育て防災ネットワークは、静岡県内で活動する子育て支援団体や親子防災啓発団体（現在36団体）から成るネットワーク団体です。

「つながろう、そなえよう、その時のために」をスローガンに、災害時、様々な支援からこぼれやすい乳幼児のいる子育て世帯を中心に支援を行うことを目的として、2020年に7団体が発起人となって設立しました。

これまでの災害では、子育て世帯や女性特有のニーズや困りごとに対して、支援が遅れたり、我慢を強いったりしていた現実があります。

当ネットワークの活動は、来る南海トラフ地震や様々な自然災害に備え、県内外において子育て支援団体・親子防災団体等が、被災時の助け合いを目的に平時からつながりあう、新しい取り組みです。

2022年9月、静岡市清水区で発生した豪雨災害の際には、巴川周辺の地域が床上床下浸水被害に遭い、また断水期間が続くなどの被害が出ました。

当団体では、いち早く募金活動やお洗濯ボランティア、ベビー用品の配達、一時保育所の開設や民間支援情報のまとめサイト作成などを行い、断水復旧後にはそれらの取り組みを広く周知する「支援報告会」を開催しました。

支援活動を通して、被災しなかった地域の団体が、ピンポイントに被災地の困りごとに対応できる当団体の強味が発揮できたことを実感しています。

県内のネットワークは、4年間で36団体にまで広がりました。県外の団体とも、4団体と大規模災害時協定を結びました。

今後もネットワークをさらに広げ、南海トラフ巨大地震に備えたいです。



台風15号被災地での親子向け読み聞かせイベント。疲れた顔にも笑顔が戻る一瞬になりました。



東西に広い静岡県。大変だったミーティングは、コロナ禍で発達したzoomで活性化し大いに活用しています。これは被災時にも有用なツールです。



台風15号浸水被災家庭の支援活動。物資配布には小さな子どもを連れて並べないため、家までお届けしたサービスが大変喜ばれました。



能登半島地震被災者支援募金をして集まった資金で各家庭の希望の品を聞き取り、輸送制限のある被災地に、ひと箱にまとめて梱包して贈りました。